慣用句(上級)プリント25

月　日　名前 _____

問1　締め切り直前で（　）詰まり、焦って作業をした。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 足元　2. 背中　3. 喉元　4. 切羽

問2　「気を回す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は気を回すのが上手で、いつも周囲を明るくする。　2. 何も言われていないのに、勝手に気を回して不安になる。　3. 会議で気を回して、全員に温かいお茶を配った。　4. 相手に気を回して、失礼のないように丁寧に挨拶した。

問3　あまりの作業量に（　）が遠くなる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 気　2. 耳　3. 目　4. 鼻

問4　「お鉢が回る」の意味はどれですか？

1. 自分のところに幸運が舞い込んでくること　2. 責任を他人に押し付けて逃れること　3. 順送りに役目や順番が自分に回ってくること　4. 物事の結末が自分の予想通りになること

問5　「立つ瀬がない」の意味はどれですか？

1. 自分の居場所がなく、落ち着かない　2. 自分の意見が通らず、悔しい思いをする　3. 周囲から孤立し、助けを求めることができない　4. 自分の立場が悪く、そこにいることができない

問6　「身に余る」の意味はどれですか？

1. 自分には荷が重すぎて失敗する　2. 自分にはもったいないほどである　3. 自分の立場をわきまえていない　4. 自分の能力を過信している

問7　「肩透かしを食う」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 強敵だと思っていたが、あっさり勝って肩透かしを食った。　2. 肩透かしを食うような服を着てパーティーに出た。　3. マッサージ店で肩透かしを食って、肩が軽くなった。　4. 重い荷物を持ち上げようとして肩透かしを食った。

問8　先輩の失敗の二の（　）を演じる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 役　2. 曲　3. 幕　4. 舞

問9　勝利を（　）中に収める。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 背　2. 足　3. 手　4. 腹

問10　相次ぐ不祥事で、会社の（　）が傾く。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 骨組み　2. 屋台骨　3. 大黒柱　4. 背骨

問11　「面目を失う」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 部下の不祥事により、責任者である彼は面目を失った。　2. 彼は長年の努力が報われ、ようやく面目を失った。　3. 面目を失うほど、彼は鏡を見て自分の顔を確認した。　4. 新しい企画が成功し、彼はすっかり面目を失った。

問12　「息を呑む」の意味はどれですか？

1. 我慢しきれずに、心の中に溜めていた不満を吐き出す　2. 驚きや感動などで、一瞬呼吸を止めるほど緊張する　3. 激しい運動のあとに呼吸を整えて落ち着く　4. 相手の出方をうかがって、じっと機会を待つ

問13　不用意な発言で上司の（　）に触れてしまった。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 横顔　2. 本心　3. 逆鱗　4. 足元

問14　「羽を伸ばす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 鳥が空を飛ぶために、大きく羽を伸ばした。　2. ストレッチをして、背中の羽を伸ばす運動をした。　3. 新しい服を着て、鏡の前で羽を伸ばしてポーズをとる。　4. 長期休暇を利用して、海外旅行で羽を伸ばす。

問15　会議中に隣の同僚が（　）を引いて、私に合図した。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 袖　2. 帯　3. 襟　4. 裾

問16　「手前味噌」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. お店で手前味噌を買って、今日の夕飯の料理に使った。　2. 失敗してしまったので、手前味噌をかぶって反省した。　3. 友達が親切にしてくれたので、手前味噌を言ってお礼をした。　4. 手前味噌で恐縮だが、この料理は我ながらうまくできた。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)プリント25　答え合わせ・解説

問1　答え 4　切羽
「切羽詰まる」の「切羽」が入ります。意味は「物事が差し迫って、どうにも逃げ場がなくなる」ことです。

問2　答え 2　何も言われていないのに、勝手に気を回して不安になる。
「気を回す」の正しい使い方は「何も言われていないのに、勝手に気を回して不安になる。」です。 意味は「あれこれと推測して、余計なことまで考えること」です。

問3　答え 1　気
「気が遠くなる」の「気」の部分が入ります。 意味は「意識がうすれる。また、話が大きすぎてぼうぜんとする」です。

問4　答え 3　順送りに役目や順番が自分に回ってくること
「お鉢が回る」は「順送りに役目や順番が自分に回ってくること」という意味です。

問5　答え 4　自分の立場が悪く、そこにいることができない
「立つ瀬がない」は「自分の立場が悪く、そこにいることができない」という意味です。

問6　答え 2　自分にはもったいないほどである
「身に余る」は「自分にはもったいないほどである」という意味です。

問7　答え 1　強敵だと思っていたが、あっさり勝って肩透かしを食った。
「肩透かしを食う」の正しい使い方は「強敵だと思っていたが、あっさり勝って肩透かしを食った。」です。「肩透かしを食う」は、相手に意気込みを巧みにそらされたり、当てが外れたりして拍子抜けすることを意味します。

問8　答え 4　舞
「二の舞を演じる」の「舞」の部分が入ります。 意味は「前任者や他人の失敗と同じ失敗を繰り返す」です。

問9　答え 3　手
「手中に収める」の「手」の部分が入ります。 意味は「自分の支配下や管理下に置く」です。

問10　答え 2　屋台骨
「屋台骨が傾く」は、組織や生活の基盤が揺らぎ、存続が危うくなることを意味する慣用句です。

問11　答え 1　部下の不祥事により、責任者である彼は面目を失った。
「面目を失う」の正しい使い方は「部下の不祥事により、責任者である彼は面目を失った。」です。 意味は「世間に対する名誉や体面を傷つけられる」です。

問12　答え 2　驚きや感動などで、一瞬呼吸を止めるほど緊張する
「息を呑む」は「驚きや感動などで、一瞬呼吸を止めるほど緊張する」という意味です。

問13　答え 3　逆鱗
「逆鱗に触れる」の「逆鱗」の部分が入ります。 意味は「目上の人を激しく怒らせる」です。

問14　答え 4　長期休暇を利用して、海外旅行で羽を伸ばす。
「羽を伸ばす」の正しい使い方は「長期休暇を利用して、海外旅行で羽を伸ばす。」です。 意味は「束縛から解放されて、のびのびと心身を休める」です。

問15　答え 1　袖
「袖を引く」の「袖」の部分が入ります。 意味は「人に合図をしたり、注意を促したりする」です。

問16　答え 4　手前味噌で恐縮だが、この料理は我ながらうまくできた。
「手前味噌（てまえみそ）」は、「自分で自分のことや身内・作品などをほめること（自画自賛）」を意味する慣用的な表現です。昔、自分の家で作った味噌（手前味噌）を自慢し合ったことから生まれた言葉です。